

対馬市縦断に 挑戦の小学生がゴール



2月27日、比田勝から巖原まで、国道を歩いて縦断していた小学生の6人が、対馬市役所にゴールしました。

対馬市縦断に挑戦していたのは、佐護小の琴尾浩介君（6年）と弟の康裕君（4年）、松尾陽子さん（5年）と妹の祐子さん（3年）、豊田美乃里さん（4年）と妹の奈央さん（2年）の6人です。

6人は、昨年12月24日に比田勝をスタートし、国道沿いに南北約90kmの縦断に挑戦してきました。子どもたちは、休みの日を使いながら毎回約10km歩き、次の回には、歩き終わった地点からスタートする形で歩き、延べ8日間でゴールしました。

最年少の豊田奈央さんは、「きつかったけど、ゴールしたときはとても嬉しかった」とゴールの喜びをかみしめていました。

この挑戦は、上対馬町比田勝の住職、菅野慶全さんが、対馬市誕生記念として、自分たちの島をよく見てほしいと6人の保護者に話したのがきっかけで、菅野さんも仕事のかたわら、こどもたちと一緒に歩きました。



みんなそろって笑顔のゴール



松村市長からの色紙を手に記念撮影

お別れお茶会

3月17日、比田勝保育所で「お別れお茶会」が行われました。

比田勝保育所では、年長組の園児を対象に、毎月、小島智子先生（鰐浦）によるお茶の講座を実施しています。この日は、もうすぐ卒園する園児達が日頃お世話になった家族や先生方を招待して心を込めてお茶を点てました。

かわいい声でお茶やお菓子を出す園児の仕草に、お茶会は笑顔に包まれていました。



かわいい仕草で「お菓子をどうぞ」

この用紙は地球環境保護のため再生紙を利用しています。